

開催概要

日 時 2025年2月13日（木）13時30分～16時

場 所 エコバルなごや

趣 旨 第4次名古屋市長環境基本計画の進捗管理の一環で、市民・事業者の意識を把握し施策に反映させるためにワークショップを実施。参加者に「環境課題の解決にむけた行動変容を進めるために、私たちは何ができるのか」について考えてもらい、実際に行動するきっかけを作る。

内 容 1 開会
2 話題提供者紹介
3 グループワーク①アイスブレイク・課題提供
・各テーマについてどう思うか・発表
4 グループワーク②市民の立場でできることを考えよう・発表
5 まとめ・閉会

参加者 学生4名 事業者9名（話題提供3名＋一般参加6名）
コーディネーター 愛知教育大学 大鹿聖公 教授
ファシリテーター4名（RACCOLABO）

当日の様子



ワークショップに参加した理由（複数選択可）

環境に関心があったため	8人
ワークショップに関心があったため	3人
他大学（他団体）との学生と交流するため【学生】	2人
他の事業者と交流したかったため【事業者】	5人
学生と交流したかったため【事業者】	3人
その他	2人

「市民の立場からできることを考えよう」（課題解決のため市民、行政、事業者ができること）

【グループA】
脱炭素型まちづくりの推進
～私たちの行動につなげよう～

企業：水素ステーションガソリンスタンドの設置を進める。
行政：そのために規制法整備。地域内ルール、条例などの制定。市バスに燃料電池バスの導入。

市民：移動に公共交通機関を利用する。脱炭素の取り組みをしている施設を利用する、ららぽーとへ行く、応援する。打ち水イベントなどに参加する、脱炭素に取り組んでいる地域に住む。

市民：環境問題の取り組みについて知ることが大事。興味をもち意識を高めるよう周知、認知。
行政：そのためにSDGS教育を進める。市民へのサポート、教育。
企業：大企業が率先して啓発する。

企業：エコフレンドリーな建物を導入する。大学でソーラーパネルが設置されている例がある。

企業：グリーンウォッシュではなく、真に環境に配慮した商品を増やす。環境に良い原料を使った商品の開発、エコパッケージの導入。
企業：表示基準、表示の仕方をわかりやすく。Eコマースなど消費者が選びやすいようにする。

企業：事業活動によるCO2排出量を減らす。

行政：銀行を通して脱炭素に取り組む企業へ融資、投資をする。

【グループB】
私たちの生活に直結している生物多様性の
危機～今、私たちができる行動を考える～

市民：環境に関心を持つ。参加する。生き物を知るために、外（公園など）に行ってみる。ボランティア活動への参加。鶴舞公園での花菖蒲会に参加している。毎年、展示会を開催。家のベランダに、一鉢からはじめる。家庭菜園をはじめる。家庭菜園で収穫したものを、近所のスーパーに納品する。コンポストを実践する。市民の家にも庭をポットでもできる。

行政：街路樹のあり方を考える。木を切らず、植える。道路交通や市民生活の安全性も大事だが、行政は緑を守る立場であってほしい。環境活動やイベントに対して支援。公園や池など、「立入禁止」といった規制が多い。自然とのふれあいのためにもリスクへの許容も必要。小学生向けのフィールドワークを実施。子どもの頃から、生物多様性を知る宿題があるといい。子どもの頃に「環境デーなごや」で環境未来体験会に参加し、おもしろかった。環境活動コミュニティの紹介。生物多様性に対する情報提供。

事業者：生物多様性を知ってもらう機会をつくる。まちの景観としての植栽運営。四季を楽しめる工夫。コミュニティづくり（運営など）。イベントの企画、牽引する人、調整役となる。

【グループC】
食品ロスって何が問題？
～行動を起こす仕組みを考える～

市民：食べ残しをしない。冷蔵庫の残り物を生かす料理作り。買い過ぎを減らす。少量パックの活用など。食品ロスへの危機感を持つ。賞味期限、消費期限の確認。アオキスーパーのハピタベに参加（食品ロス削減に積極的なお店を選ぶ）。コンポストを利用して生ゴミを出さない。外食時の残り物は持ち帰る。

行政：コンポストで作った堆肥を野菜に換えられる仕組みがあるといい。アオキスーパーや類似の企業の取り組みを周知。事業者の交流の場づくり（スーパーを集めて事例集をつくるなど）。女性会でのコンポスト教室。

事業者：つくりすぎない。発注しすぎない。企業間での情報共有。積極的な意見交換。実情をリアルに伝えることで、企業のイメージアップにもつながる。食品ロスの取り組みを消費者にアピール。子どもへの周知の取り組み。野菜の皮や葉を使ったレシピの案内。



アンケート結果（回答数：11件）

ワークショップに参加する前、環境に関する行動をしていましたか？

日常生活でできる範囲で行動をしていた	7人
所属している団体や個人で積極的に行動をしていた	7人

上記の理由を教えてください。

（所属している団体や個人で積極的に行動をしていた）

- 食べ残しゼロ協力店加盟、なごやSDGsグリーンパートナー企業、エコドライバマスター、コンポストアドバイザーなどを取得。
- 星が丘テラスにて星のガーデナープロジェクトや花壇のナチュラルスティック化を実施し、自身もガーデナープロジェクトの受講生として学んでいます。

（日常生活でできる範囲で行動をしていた）

- 食品を買うとき、積極的に「手前どり」や環境に配慮して作られたマークの付いた商品を買うようにしていた。
- なごや環境大学を中心に既に活動されている方々や事業者のイベントに参加して、まずは知るところを初めています。

ワークショップに参加して環境に関する行動をしようと思いましたか？
（複数選択可）

もっと環境に優しい行動（個人でできる範囲）をしようと思った	9人
今回考えた企画やアイデアの実現に向けて動きたいと思った	5人
今行っている環境に関する行動や活動を引き続き継続していききたいと思った	4人
仲間を募って活動しようと思った	2人
所属（団体）を盛り上げていきたいと思った	2人

上記の理由を教えてください。

- 自分の環境への取り組みの不十分さをよく理解できたから。
- 既に活動をしている事業者や学生さんの声を実際に聞くことで、勇気と親近感が湧いたため
- 今以上に出来る事があると知ったため。